

太鼓の森づくりシンポジウム

【高藤】コーディネーター

初めに自己紹介をさせていただきます。NPO埼玉ネットは中間支援組織で、NPOの情報発信を支援する組織の代表理事を務めます齊藤克子です。本日はNPO団体の方々にお集まり頂き、太鼓の森づくりシンポジウムの森づくりの意義について話し合っていきます。御一人ずつ自己紹介と団体の活動についてご説明を頂きます。

【高藤】

林野庁補助事業アドバイザーで、太鼓の森づくりのコーディネーターでもありNPO法人グリーンフォレストジャパンの代表理事を務めます横路美喜緒さんにお話を頂きます。

【横路】

私は埼玉県NPOと約15年の関係があり、東秩父村では埼玉森林サポータークラブで槻川源流の森づくりでお世話になりました。今回は林野庁の多様な森づくりのアドバイザーをしており日本太鼓協会の諏訪さんから協力を依頼され、ケヤキの森づくりには東秩父村が適している事を紹介したところ、日本太鼓協会の諏訪さんが企画を執行し今回のイベントに至りました。

【高藤】

NPO法人荒川わらの会理事長 三宮幸雄さんにお話を頂きます。

【三宮】

当団体は北本市内の大宮台地の高い所に有る雑木林からしみ出た水で古代米を作っている団体です。今朝、旧槻川村を歩いてみて、村と森には歴史があり、里山の重要性を感じました。

【高藤】

NPO法人日本太鼓協会の代表理事 諏訪幸男さんにお話を頂きます。

【諏訪】

太鼓の森づくりのきっかけは、和太鼓の演奏会を開催した時、観客の方に和太鼓は何からできているか聞かれ、和太鼓の胴はケヤキから出来ていることを多くの方に知ってもらいたかったからです。林野庁の補助事業に申請したところ、太鼓の森づくりが認められ事業開催に至りました。今回は記念植樹のみですが、来年の3月には東秩父村、埼玉県、土地所有者の協力を得て太鼓の森づくりを実行に移していきます。

【高藤】

和太鼓の胴に使われているケヤキの木は埼玉県産の木です。昔は埼玉県にも数多くのケヤキがありましたが、現在は減少の一途をたっています。和太鼓の胴として使用出来るケヤキの材料も減っています。日本太鼓協会の諏訪さんは和太鼓演奏だけでなく、和太鼓の普及にも積極的に活動しています。

【高藤】

ケヤキの事や、埼玉県の森づくりの現状をご説明お願い致します。

【横路】

私は、ケヤキは木の種類の中で一番美しい木だと考えています。枝が扇状に広がり成長する姿がとても美しいと感じます。埼玉県の県木はケヤキですが東秩父村の村木もケヤキです。ケヤキの森を作る上で、ケヤキの木は伸び伸びと育ててほしいと思います。かつては東秩父村も昔はケヤキなどの広葉樹が多い森でしたが、戦後の人工林を中心とした森になってしまったため、今後は自然の環境に戻すため広葉樹も入れた多様な森づくりを推進して行きたいと想います。

【高藤】

昔はケヤキは私たちの生活に身近な木で有りました。しかし、現在では外来木を使用する機会が増えている為、日本の林業が厳しい環境に置かれています。続いて里山の文化についての考えをお願い致します。

【三宮】

私の団体の目的は、古代米を作る事だけではなく、キーワードは里山です。森一つ残す事だけではなく、周りに農家があり、赤道、青道と言われる用水があったり、環境にあった動物や昆虫がセットになって初めて里山と言うキーワードが使えます。東秩父村の里山に合う、人と文化が一緒になった太鼓の森づくりを目指してもらいたいと思います。食文化の次にくる心の文化が太鼓の森だと思います。日本太鼓協会の諏訪さんの太鼓の森づくりで、町おこしに協力していきたいと思っています。

【高藤】

これからの太鼓の森づくりの具体的な内容をご説明お願いいたします。

【諏訪】

日本太鼓協会では全国各地で開催する和太鼓イベントで、皆様に環境に優しい太鼓の森づくりを伝えて行きたいと考えています。ケヤキの木が太鼓の胴になるには150~200年の年月が必要であり、それを考えると今直ぐ立ち上がる必要性を感じました。今から150年前は日本では桜田門外の変で大老の井伊直弼が暗殺され、アメリカではリンカーンが大統領になりました。私たちはこの先150年、200年先を見据えて行動をして行く為に、皆様の協力を得て今を頑張っていきます。

【高藤】

150年は気の遠くなる年月ですが、日本太鼓協会も東秩父村、埼玉県、土地所有者、会員の方々の協力を得て、太鼓の森づくりの活動を継続して人から人へ心を伝えていって頂きたいと思っています。この太鼓の森が将来には太古の森になってほしいです。最後に一言、日本太鼓協会の諏訪さんお願い致します。

【諏訪】

今日が日本発の太鼓の森づくりを記念する日となりました。今後は日本太鼓協会の会員とご協力頂く方々と共に森を作ってまいります。

【高藤】

以上でシンポジウムを終了させていただきます。



シンポジウム参加者

NPO法人 NPO埼玉 代表理事 齊藤克子氏
NPO法人 グリーンフォレストジャパン 代表理事 横路美喜緒氏
NPO法人 日本太鼓協会 代表理事 諏訪幸男氏
NPO法人 荒川わらの会 理事長 三宮幸雄氏

ケヤキ苗木の記念植樹



左から東秩父村議会議長足立理助氏・日本太鼓協会諏訪幸男氏・東秩父村長若林全氏・埼玉県議会議員畠山稔氏・寄居林業事務所長大澤裕氏・土地所有者島田充康氏

和太鼓演奏



各太鼓団体の熱い演奏で盛り上がりました。写真:和太鼓「破魔」

太鼓の森づくりのイベントは
11月20日(土) 東秩父村「和紙の里」で
開催されました。(主催:日本太鼓協会 後援:東秩父村)

東秩父村
和紙の里

東秩父村和紙の里
秩父郡東秩父村大字御堂44-1
TEL 0493-82-1468

